



ロケ現場に花束を配達した
その生花店 師岡弥生さん

ロケ現場では、役者さんの全撮影が終わる『クランクアップ』に花束を贈る習慣があるそうで、伊豆オープンセットや茅野っ子ひろばの支度場に何度か花を届けました。「花束が大きくてきれい」と喜んでいただいたと聞き、うれしくなりました。他にも大河ドラマ館のある葦山時代劇場に四季折々のお花を装飾したりと、大河ドラマとは関わりが多かったです。



ロケ現場に弁当を配達した
キッチンエビセン 菅沼道子さん

ロケはまちおこし、という気持ちで配達しました。天候でスケジュールが急に変わることもありましたが、可能な限り「ロケを支援する」姿勢で、頼まれれば早朝から深夜まで配達しました。スタッフや役者さんが飽きないようメニューに様々なレパートリーを用意したのも、喜んでもらえたみたいです。撮影スタッフには毎回必ず、感謝の気持ちと、「また伊豆へ撮影にお越しください」と伝えました。



伊豆の国市建設業協会 若手の会
(株)木村組 専務取締役 木村真一さん(左)
(有)かとり商事 専務取締役 川口哲哉さん(右)

田中山のスコリア採取場跡地はもともと盛土されていたため、『伊豆オープンセット』の設置に向けて、若手の会が重機で地盤の形状を変え、大河ドラマのセットに見合う地盤造成をしました。私たちが造成した土地の上に大河ドラマのセットが建って、役者さんが演じているのをテレビで見るのは、何か不思議な気分ですね。



大河ドラマをきっかけに
歴史の勉強会を開催した
(有)相原建設 塩崎純一さん

もともと歴史好きだったので、大河ドラマが伊豆の国市で撮影されることが決まった一昨年から放送が待ちきれず、仲間内で歴史の勉強会を開催していました。ロケ中には、撮影スタッフと遭遇し、熱意を伝えることもできました。『鎌倉殿の13人』がスポットを当ててくれた郷土の歴史を大切に、これからも若い世代に伝えていきたいですね。



オープンセット体験会に当選した
星野さん家族

地元が物語の舞台となったことがきっかけで、家族みんなで大河ドラマを見始めました。9月の体験会で、市内にこんなに大きなロケセットがあったと知り、びっくりしました。石も本物そっくりに作られているなど、細かい部分までセットが凝っていました。NHKのプロデューサーさんに直接セットの説明をしていただけたのも貴重な体験でした。



スタッフ・出演者の宿泊を受け入れた
福狸亭小川家 専務 鴨下友秀さん(左)
小松家八の坊 専務 望月敬太さん(右)

昨年の7月から、何度か市内でロケが行われ、出演者やスタッフが伊豆長岡温泉の旅館やホテルに分かれて泊まりました。コロナ禍の中、感染症対策を徹底するなどして、大河ドラマゆかりの地の宿泊業者として、精一杯のおもてなしを心がけました。泊まった皆さんに「過酷なロケから帰ってきて、畳と温泉に癒された」と言っていただけたのはうれしかったですね。



市民エキストラとして撮影に参加した
大谷栄義さん

伊豆の国市でエキストラ募集があったとき、「他市町ではなく、市民が参加しなくては」と思い、応募しました。参加したロケは第1～5回全てに計9回。田中山にキャストが勢揃いする光景を見たときは感激しましたね。大河ドラマの撮影が地元で行われることはめったにないので、私の人生にとって大きな経験になりました。

伊豆国のサポーターズ

ロケが無事に終了した陰には多くの市民の協力がありました。エキストラとして参加してくれた人、ロケセット建設や撤去に関わった人、スタッフや出演者の宿泊を受け入れてくれた旅館やホテル、ロケ現場にお弁当やお花を届けてくれた人、ロケに立ち合ってくれた消防団など、さまざまな立場でロケをサポートし、盛り上げてくれた皆さん。ここにご紹介できるのはごく一部の人だけですが、ロケに協力してくれた全ての皆さんに感謝いたします。



市民エキストラとして撮影に参加した
渡辺りこさん(左) 良江さん(右)

最初は歴史好きの母(良江さん)の付き合いで参加したのに、間近で見た畠山重忠役の中川大志さんがかっこよくて、すっかり大河ドラマが好きになってしまいました。役は農民や庶民の役で、一日中のロケだったけど、暑さ寒さは気になりませんでした。また次にロケがあったら、作品の内容やキャストによって参加しようと思います。



ロケ現場の延焼防止に協力した
伊豆の国市消防団第12分団の皆さん

「火を扱うシーンの撮影があるので、地元消防団として協力してほしい」と要請を受け、ロケに立ち合いました。何もないはずのスコリア採取場跡地に、鎌倉時代の街並みが見事に再現されていたことや、とても多くのスタッフ・役者さんが力を合わせて撮影していたことに感動しました。

おかげ様で伊豆ロケが無事に終わりました



よしとき
(こしろう)